

# うわおきみどりかい 上沖水土里会 (上田市)

• 組織の活動面積	A = 33.14 ha
• 組織の構成員数	約 100 人

組織形態	共同活動 <input checked="" type="checkbox"/>	中山間直接支払 <input type="checkbox"/>	向上活動 <input type="checkbox"/>
取組開始年度	平成19年～	—	—

構成員	農業者、国分自治会、黒坪自治会、上沖管理委員会、上沖援農隊
-----	-------------------------------

## ○組織の概要

上沖水土里会の活動エリアは、上田市国分、信濃国分寺北側500mの高台、一面平坦な水田耕作地帯です。この一帯は、超強度の粘土土壌で、昔からおいしいお米の生産地として有名でした。

昭和41年に県営ほ場整備事業の第1号として整備されてから四十数年にわたり、地域においしい米を生産、供給してきました。最近では、地域内に上田市立第一中学校の建設やJA信州うえだの産地直売センター、大手家電量販店等の出店が相次いでいます。また、上田バイパスの第二期計画道路の用地買収も進み、昭和41年当時と比べると耕作面積は減少しましたが、隣接する地域の皆さんと協力しながら活動を進めています。共同活動が始まってから、あいがも農法、EM菌の無農薬農法などの耕作面積も増えています。

今後も広報活動に力を入れ、地域の皆さんとの交流活動を盛んに進めていきます。

## おいしいお米の里作り



### 地域の皆さんとの交流

毎年国分保育園の園児の皆さんと一緒にあいがもの放鳥を行っています。7年間続いています。初めてあいがもに触れ大歓声です。この光景は毎年同じです。

休耕田を活用してひまわりを栽培してきました。地域のおじいさん、おばあさん、国分保育園の園児の皆さんに自由に摘み取って頂き、家に持ち帰って飾っていただきます。



↑ あいがもの放鳥、ひまわり交流会

環境保全看板を製作 ⇒



ほ場整備事業が完了してから四十数年が過ぎ、活動地域の中には、補修が必要な施設が多数存在します。

上沖水土里会役員と上沖管理委員会が共同して、施設の機能診断を徹底して行い、施設の保全に努めます。

施設の機能診断、補修作業(写真上下) ⇒